

## 第84回全国安全週間を迎えるにあたって

# 労働災害防止の重要性の再認識を

愛知労働局長

熊谷 毅  
くまが い たけし



平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、突然の大地震とそれに伴う大津波により、多くの人命が失われ、東北地方を中心に未曾有の甚大な被害となりました。未だに余震が頻発する中、避難生活を余儀なくされている多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、現在も復旧・復興に向けて活動されている皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

この大震災を通じ、日本という国と社会は大きな変革を余儀なくされていますが、被災地が一日も早く安全に復興するとともに、働く人が仕事に働きがいを感じ、そのご家族が安心して暮らせる元氣な日本を創る必要があります。また、産業界においては、企業を支えているのはそこで働く人であり、安全で安心して働くことができる職場が企業の力の源泉ですので、家族や社会と対話をしながら安全活動を展開していく必要があります。

「安全は 家族の願い」

このような観点から、平成23年度の全国安全週間は、**「安全は 家族の願い」**をスローガンとして展開することとしています。3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的として、戦中戦後の混乱期にも一度も中断することなく続けられ、本年で84回目を迎えます。

6月1日から6月30日までを準備期間として、全国的に展開されます。愛知県における最近の労働災害発生状況をみると、年ごとに増減を繰り返しながらも減少傾向を示していますが、平成22年には死亡者数58人で対前年比8人(16%)の増加、休業4日以上の災害は6,427人で247人(4%)の増加となりました。昨年夏の猛暑の影響により、熱中症やその他の災害が多発し、7月には死亡災害が14人も発生したため、死亡災害、休業災害とも前年を上回る結果となりました。昨年、閣議決定された新成長戦略の行動目標の一つである「2020年までに労働災害を3割減少させること」につなげるためにも、平成23年度は、労働災害の発生を一年より減少させ、第11次労働災害防止推進計画を確実に達成するよう取り組む必要があります。

## 愛知労働局のホームページ

「愛知労働局ホームページ」をご利用ください。労働基準監督署・ハローワークの地図、相談窓口、労働関係情報等掲載しております。

アドレス <http://www.aichi-rodo.go.jp/>

問い合わせ先 愛知労働局総務部企画室(電話：052-972-0252)

この対策として、愛知労働局では、今年度、「労働災害の大幅な減少を目指すための実施要綱」を策定しました。過去10年間の月別の死亡災害発生状況では、7月と8月に多発しており、特に昨年は7月に突出して発生し

たことを踏まえ、7月を「夏季死亡災害防止強調月間」として重点的に死亡災害防止に取り組み、とをこの要綱の中で定めています。

このため、事業場の皆様には、全国安全週間準備期間及び本週間に引き

続いて、「夏季死亡災害防止強調月間」の活動に取り組んでいただきますようお願いいたします。

今回の大震災では、「想定外」という言葉がよく聞かれます。しかし、労働災害防止においては、事業主は、労働者の安全確保に向けてあらゆる事態を想定して、体制を整備し、迅速に対応していくことが求められます。

職場に発生するあらゆる事態を想定して対応するための、リスクアセスメント等の導入が重要といえます。労使が一体となって職場のリスクアセスメント等を実施していくことにより、機械設備・作業等による危険を把握

し、安全対策を先取りしていくことが不可欠です。

大震災後のこの全国安全週間を契機に、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただくとともに、リスクアセスメント等を活用し、

労働者の安全を確保するためあらゆる事態を想定し、万全の対策を実施するようお願いいたします。



第84回全国安全週間スローガン

安全は 家族の願い 企業の礎

創ろう元気な日本！